

令和5年度 大洲市の決算



目 次

○一般会計の歳入	・ ・ ・ ・ ・	P 1
○一般会計の歳出	・ ・ ・ ・ ・	P 2
○大洲市の特別会計	・ ・ ・ ・ ・	P 9
○大洲市の企業会計	・ ・ ・ ・ ・	P 11

会計の種類

○一般会計

地方公共団体の行政運営の基本的な会計です。

福祉・教育・土木などに要する経費を市税などを主な財源として経理する会計です。

○特別会計

特定の事業を行う場合に特定の歳入を特定の支出に充てて経理する会計です。

本市では国民健康保険、介護保険などがあります。

○企業会計

市の一般会計と切り離され、独立採算制による特定の事業を経理する会計です。

本市では水道事業や病院事業などがあります。

一般会計の歳入

歳入総額 320億1,102万円

種 類	金 額	割 合
地方交付税	111億5,844万円	34.8%
国庫支出金	42億7,754万円	13.4%
市 債	30億6,630万円	9.6%
市 税	44億8,622万円	14.0%
繰越金	32億8,838万円	10.3%
県支出金	15億6,886万円	4.9%
そ の 他	41億6,528万円	13.0%

【用語解説】

地方交付税	どの地域に住む人でも一定水準のサービスを受けることができるよう国から交付されるお金 国税6税(所得税、酒税、法人税、消費税、たばこ税、地方法人税)が原資となっています。
国庫支出金	道路や建物の整備などに必要なお金の一部として国から受け入れたお金
市 債	市が借り入れたお金
市 税	みなさんから市に納められたお金

市税の内訳

項 目	金 額	割 合
固定資産税	21億0,872万円	47.0%
市 民 税	18億4,524万円	41.1%
たばこ税	3億3,728万円	7.5%
軽自動車税	1億9,380万円	4.3%
入 湯 税	118万円	0.1%

一般会計の歳出

歳出総額 295億7,743万円

目的別

目 的	金 額	割 合
総 務 費	50億9,125万円	17.2%
民 生 費	90億4,205万円	30.6%
衛 生 費	30億7,405万円	10.4%
農林水産業費	12億2,981万円	4.2%
土 木 費	28億9,172万円	9.8%
教 育 費	22億8,422万円	7.7%
公 債 費	35億7,460万円	12.1%
そ の 他	23億8,973万円	8.0%

性質別

性 質	金 額	割 合
人 件 費	50億4,697万円	17.1%
物 件 費	38億0,002万円	12.8%
扶 助 費	46億7,776万円	15.8%
補 助 費 等	39億3,407万円	13.3%
普通建設事業費	41億4,497万円	14.0%
公 債 費	35億7,459万円	12.1%
そ の 他	43億9,905万円	14.9%

普通建設事業費	道路や公園などの公共施設を建設するために使ったお金
扶 助 費	児童手当や、重度心身障害者・子どもの医療費などに使ったお金
補助費等	各種団体への補助金や組合への負担金に使ったお金
物 件 費	消耗品や旅費、公共施設の運営などに使ったお金

一般会計の歳出 目的別

議会費

予算額	2億0,203万円	
決算額	1億9,186万円	執行率 95.0%

議会の報酬や議会の運営経費など、議会活動のための経費です。

総務費

予算額	56億1,381万円	
決算額	50億9,125万円	執行率 90.7%

例えばこんなことに…

大洲市民文化会館の建設

老朽化した市民会館の移転、建替えに向け、市民文化会館新築工事の基本設計をとりまとめました。

また、建設予定地の地質調査を行うとともに、用地取得に必要な不動産鑑定評価や物件調査をおこないました。

令和11年度の開館に向け、引き続き事業を推進していきます。

肱川地区復興まちづくり

大洲市復興計画の地区別計画として、肱川地区復興まちづくり計画を策定し、肱川地区複合公共施設新築工事をおこないました。

この工事の完成で、「大洲市復興計画」は、おおむね完了しました。

地域自治組織の再編

令和6年度からの地域自治組織の再編に向けて、大洲市地域自治組織再編検討会議において、最終の方向性として取りまとめた「大洲市地域自治組織再編方針(案)」に基づき、5月から市内33地区（自治会）で地元説明会を行い、意見を伺いました。

各地区からの意見・要望等を踏まえ、修正等を行って11月に地域自治組織再編の最終的な方針として決定しました。

民生費

予算額 100億5,418万円

決算額 90億4,205万円

執行率 89.9%

例えばこんなことに…

18歳までの子ども医療費無償化

子育て世代の経済的負担を軽減するため、高校生世代（18歳）まで子ども医療費の無償化を拡充しました。

特定健康診査・39歳以下健診の無償化

健康づくり・健康寿命の延伸に対する意識の向上を図り、より多くの市民に特定健診等を受診していただけるよう、特定健康診査・39歳以下健診の個人負担を無償化し、がん検診等の個人負担をワンコイン500円（肺がんCT検査を除く）に引き下げました。

保育所や認定こども園の運営

保育が必要な児童が入所し、豊かな人間性を持った子どもの教育・保育に努めるとともに、施設の適正な管理運営を行い、児童福祉の向上を図りました。

市立保育所・・・7施設

市立認定こども園・・・4施設



保育所等ICT推進事業

保育業務の効率化と保護者の利便性の向上を図るため、保育に関する計画・記録や保護者との連絡、子どもの登降園管理等の業務のICT化を進め、保育士1人1台のタブレットを配備しました。

高齢者福祉の充実

高齢者が要介護状態に陥ることなく、住み慣れた地域で継続して生活を送ることができるよう、介護、介護予防・生活支援などの各種施策を推進し、健康寿命の延伸、高齢者の健康づくりに取り組みました。

ねんりんピック推進事業

全国健康福祉祭えひめ大会（ねんりんピック愛顔のえひめ2023）が開催され、大洲の3会場で、ソフトテニス交流大会を実施しました。

会期：令和5年10月28日～31日

会場：八幡浜・大洲地区運動公園、晴海ふれあいパーク、鹿鳴園

選手：全国から60チーム・376名

衛生費

予算額 34億7,942万円

決算額 30億7,405万円

執行率 88.3%

ごみの処理



例えばこんなことに...

家庭から排出されるゴミを分別収集し、適正に処理しました。
＜主なごみの収集量＞

・燃やすごみ	6,118.21トン
・燃やさないごみ	291.89トン
・資源ごみ	732.17トン

猫不妊去勢手術費の補助

猫の不妊手術去勢手術費用の一部を補助しました。
＜補助金の額＞

・飼い猫	17頭	62千円
・飼い主のいない猫	163頭	938千円



ゴミ出し困難者支援事業

家庭ごみをごみステーションまで持ち出すことが困難な高齢者や障がい者を対象に支援を行っています。

- 要件1
 - ・介護保険の認定を受けている人
 - ・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を持っている人
- 要件2
 - ・要件1のいずれかに該当し、1人暮らしで、自分で家庭ごみの排出が困難な人
 - ・世帯全員が要件1のいずれかに該当し、家庭ごみの排出が困難な世帯

・委託料 3,449千円 87件



労働費

予算額 7,000万円

決算額 7,000万円

執行率 100.0%

勤労者への支援を目的とした資金貸付制度のための預託金を四国労働金庫に預託しています。

予算額 17億1,080万円

決算額 12億2,981万円

執行率 71.9%

例えばこんなことに…

新規就農総合支援事業

農業従事者の高齢化や人口減少が急速に進展する中、独立・自営就農する方に資金を交付する「経営開始資金」と機械・施設等の購入支援を行う「経営発展支援事業」を行い、次世代を担う農業者となる青年新規就農者の確保を図りました。

森林経営管理事業

令和元年度に設置した「大洲市森林経営管理事業等検討委員会」で策定された「大洲市森林経営管理事業等実施計画」に基づき、森林環境譲与税等を活用して森林整備、担い手対策、林材活用の各種林業振興事業を実施しました。

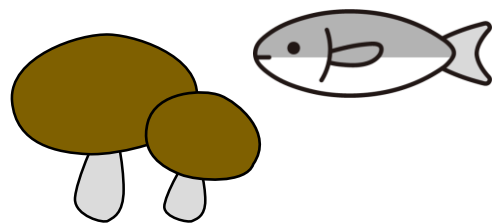
中山間地域等直接支払推進事業

中山間地域における農業生産条件の不利性を直接支払いで補正することにより、適正な農業生産活動等を通じた耕作放棄地の発生防止と多面的機能の維持増進を図りました。

<対象集落数> 大洲地域 27集落、長浜地域 8集落、肱川地域 11集落、
河辺地域 10集落 合計56集落

<交付金総額> 53,882千円

農林水産業の物価高騰対策



1. 燃油価格高騰緊急対策給付金

燃油等の価格高騰が施設園芸農家、乾しいたけ生産者及び漁家の経営を圧迫していることから、価格高騰分の一部を給付し、経営の維持・継続を図りました。

2. 畜産配合飼料価格高騰対策事業

畜産配合飼料価格の高騰を受け、飼料コスト低減や収益確保に向けた取り組みの実施により経営体質の改善を行う畜産農家の経営継続を支援しました。

3. 畜産飼料価格高騰対策支援給付金

畜産配合飼料価格の高騰等により経営に大きな影響を受けた畜産農家へ配合飼料価格安定制度の積立金に対する給付金を支給し、経営の維持・継続を図りました。

商工費

予算額 13億9,685万円

決算額 10億7,793万円

執行率 77.2%

例えばこんなことに・・・

官民共創推進拠点施設整備事業

旧伊予銀行大洲本町支店を購入し、官民共創による地域課題の解決、市内外事業者交流、起業家の育成等を目的とした施設の整備を行いました。

<建物概要>

- ・ 構造、階数：鉄筋コンクリート造2階建
 - 1階 コワーキングスペース（最大35名利用可能）、会議室、個室等
 - 2階 レンタルオフィス（3部屋）ワークラウンジ、会議室等
- ・ 整備事業費 129,740千円



大洲ブランドの創出 ～大洲ええもんセレクションブランド戦略支援事業～

認定品の価値の向上や販路開拓を目指し、個別指導や販売・商談会の機会提供、情報発信等を行い、流通拡大に繋げることで大洲ブランドの信頼性と認知度を高めるとともに、地域活性化と市のイメージアップを図りました。

さらに、認定商品の中でも認定事業者が自ら取り組む事業を支援し、大洲ブランドの向上と事業者の継続的な経営を支援しました。

- ・ 委託料 9,999千円



観光まちづくり戦略推進事業

サステナブルツアーの受入体制を整備するため、サステナブルな取り組みの紹介プロモーション動画の作成やまちづくりブックの多言語化を実施しました。

また、多言語化サイト構築業務として、公式観光サイト「Visit0zu(ビジットオオズ)」に英語と中国語への自動翻訳機能を搭載しました。

観光促進事業

多様化する観光客のニーズに対応していくために、観光資源を掘り起こし、磨き上げ、組み合わせるなど、新たな観光旅行商品を作り上げていくための事業を実施しました。

また、訪日外国人受入環境整備事業としてトイレの洋式化改修工事及び多言語表示を実施しました。

土木費

予算額 38億5,295万円

決算額 28億9,172万円

執行率 75.1%

道路の新設・改良

例えばこんなことに・・・

大洲市の市道は総延長1,710km（令和5年4月現在）で、国、県の補助事業や起債事業、または市単独事業により、道路の改良や舗装を行い、地域住民の暮らしの利便性の向上を図りました。

- ・ 交付金道路整備事業 845,717千円
- ・ 辺地対策事業 72,016千円
- ・ 過疎対策事業 102,893千円
- ・ 市単独事業 15,103千円

住家の耐震・空き家除却

地震への対策として木造住宅の耐震化とともに、老朽化した危険な空き家を除却する経費の一部に対する助成を行いました。

- ・ 木造住宅耐震改修：1件 助成額 1,000千円
- ・ 危険空き家除却：19件 助成額 15,099千円



治水対策・内水対策事業

起債事業を活用し、内水等による浸水被害の軽減を図っています。

- ・ 西大洲地区 事業概要： 流下阻害物撤去
測量設計委託： 484千円 工事： 1,067千円
- ・ 新谷地区 事業概要： 止水壁設置 測量設計委託： 2,455千円
- ・ 梁瀬地区 事業概要： 止水壁設置 測量設置委託： 2,935千円

消防費

予算額 11億0,978万円

決算額 9億7,901万円

執行率 88.2%

防災体制の充実

例えばこんなことに・・・

市内全地区で結成されている自主防災組織の活動を支援することにより、防災力の向上を図りました。

- ・ 自主防災組織による訓練・研修 143件 延べ3,535人参加

消防施設整備

老朽化した消防詰所の建替え、小型動力ポンプ積載車及び小型動力ポンプの更新を行い、消火活動の効率化を図りました。

- ・ 詰所建替え 2箇所 48,235千円
- ・ 消防車両 2台（積載車） 11,891千円
- ・ 小型動力ポンプ 6台 13,728千円



教育費

予算額 25億0,853万円

決算額 22億8,422万円

執行率 91.1%

例えばこんなことに…

学校施設の整備・充実

「大洲市学校施設長寿命化計画」に基づき、学校施設について、老朽化、設備の更新や多様な学習形態に対応する長寿命化改修を行い、児童生徒の教育環境の改善を図っています。

・大洲南中学校長寿化改修事業

校舎棟 1,794㎡ 管理棟 736㎡

特別教室棟 564㎡

<事業内容> ・R5実施 長寿命化改修工事設計業務
・事業費 31,900千円
・事業計画 R6～7工事



児童生徒用木製机椅子更新事業

市内小中学校の児童・生徒の机、椅子については、令和8年にかけて計画的に更新を行っています。

更新においては、市内産木材で製作した木製机、椅子を整備していきます。

・製作数 300セット ・事業費 23,991千円

外国語教育の充実

外国語指導助手の導入により、児童生徒の英語に対する興味、関心及び学習意欲を高め、新学習指導要領に対応した外国語教育の充実を図っています。

・外国語指導助手（ALT） 6人

オンラインスポーツ事業

市全体を運動の場として、いつでも取り組むことができるオンラインスポーツの普及を図り、市民の健康増進及び健康寿命の延伸を図っています。

・新春！OZU健康ウォーク 参加者 78人

・春うららOZU健康ウォーク 参加者 93人

その他

予算額 38億4,449万円

決算額 36億4,553万円

執行率 94.8%

公債費、災害復旧費、予備費など

大洲市の特別会計

特別会計とは、ある特定の事業を行う場合に一般会計とは区別して、歳入や歳出などの経理処理をするものをいいます。

また、特別会計を新たに設けたり、廃止するときには、条例で規定しなければなりません。

1 国民健康保険

予 算	53億2,082万円
収 入	52億2,795万円
支 出	50億2,794万円
差引額	2億0,001万円

国民健康保険制度は、病気やケガをした時に病院に支払う診療費の一部を負担することによって自己負担を軽くするための社会保険です。自営業者や会社を退職した人などが加入しています。

加入者が納付した保険税などの収入や医療費の支払いなどを管理するための会計です。

2 国民健康保険診療所

予 算	1億0,961万円
収 入	9,239万円
支 出	9,239万円
差引額	0円

河辺診療所を運営するため、個人が納付した医療費や診療報酬などの収入や、医師や看護師の人件費、医薬品や医療機器の支払いなどを管理するための会計です。

3 後期高齢者医療

予 算	7億2,297万円
収 入	7億2,182万円
支 出	6億9,464万円
差引額	2,718万円

後期高齢者医療制度は、平成20年4月1日から開始しました。75歳以上の人と65歳以上で一定の障がいのある人を対象にした医療制度です。

加入者が納付した保険料などの収入や、制度の運営をしている後期高齢者医療広域連合（都道府県単位に設置）への負担金などの支払を管理するための会計です。

4 介護保険（介護保険事業勘定・介護サービス事業勘定）

予 算	57億5,672万円
収 入	56億3,282万円
支 出	55億9,483万円
差引額	3,799万円

介護保険制度は、介護を必要としている人が日常生活を送るために訪問サービスや施設サービスを受けることができるよう、社会全体で支える仕組みとして導入されている制度です。

加入者が納付した保険料などの収入や保険給付費などの支払いを管理するための会計です。

5 飲料水供給事業

予 算	3,464万円
収 入	2,516万円
支 出	2,516万円
差引額	0円

飲料水供給事業は、給水人口が50人から100人までの飲料水供給施設と、10人から49人までの共同給水施設で水を供給しています。

使用者からの使用料収入や、水道施設の維持管理や施設整備にかかる支払を管理するための会計です。

6 港湾施設事業

予 算	1,033万円
収 入	955万円
支 出	955万円
差引額	0円

港湾センター(大洲市長浜)の施設使用料などの収入や、施設の維持管理にかかる支払いなどを管理するための会計です。

7 土地取得造成

予 算	20万円
収 入	0円
支 出	0円
差引額	0円

公共事業として必要な土地を購入するための費用や、その用地費用を準備するために借り入れる地方債の元利償還金などを管理するための会計です。

収入は一般会計からの繰入金が主なものです。

8 農業集落排水事業

予 算	3,197万円
収 入	2,702万円
支 出	1,678万円
差引額	1,024万円

八多喜地区において供用している農業集落排水施設(生活雑排水を処理して川にもどす農村地域における下水道)の、使用者からの使用料の収入や、施設管理や借入金の返済などの支払を管理するための会計です。

9 温泉事業

予 算	271万円
収 入	210万円
支 出	210万円
差引額	0万円

大洲市少彦名温泉の温泉水使用料や、施設の貸付料などの収入、施設の管理や借入金の返済などの支払を管理するための会計です。

大洲市の企業会計

企業会計とは、公共の利益を目的として経営する企業にかかる会計のことです。
大洲市では、水道事業、工業用水道事業、下水道事業、病院事業があります。

水道事業会計

総収益	10億3,001万円
総費用	10億9,379万円
当期純利益	△6,378万円

飲料水供給事業以外の水道事業を運営するための会計です。

給水人口 35,957人
年間配水量 6,131千m³
年間有収水量 4,317千m³

工業用水道事業会計

総収益	1,709万円
総費用	1,709万円
当期純利益	0円

工場や事業所などの限定した雑用水を供給する工業用水道事業を運営するための会計です。

給水先事業数 2箇所

下水道事業会計

総収益	5億8,255万円
総費用	5億8,255万円
当期純利益	0円

農業集落排水事業以外の下水道事業を運営するための会計です。

処理区域内人口 8,650人
処理水量 667,335m³
(一日平均1,791m³)

病院事業会計

総収益	30億1,114万円
総費用	32億0,247万円
当期純利益	△1億9,133万円

市立大洲病院を運営するための会計です。

病床数（一般・結核） 150床
延べ入院患者数 25,466人
延べ外来患者数 67,167人

